

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公表番号】特表2008-531801(P2008-531801A)

【公表日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-032

【出願番号】特願2007-557462(P2007-557462)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/06 (2006.01)

C 0 8 K 5/3435 (2006.01)

C 0 8 K 5/5333 (2006.01)

C 0 8 K 5/18 (2006.01)

C 0 8 K 5/13 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/06

C 0 8 K 5/3435

C 0 8 K 5/5333

C 0 8 K 5/18

C 0 8 K 5/13

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月18日(2009.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

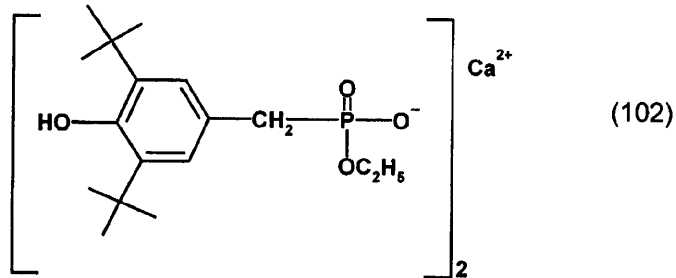
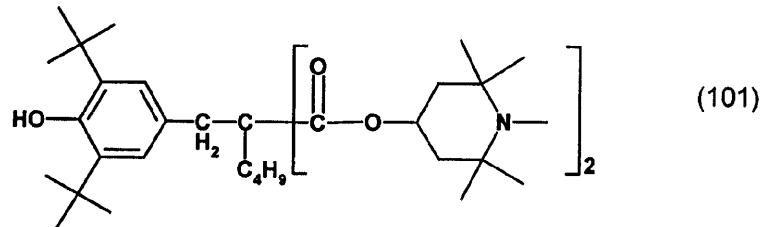
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) ポリエステルポリオール、ポリエーテルポリオール、アクリルポリオール、ポリカーボネートポリオール、ポリブタジエンポリオール、水素化ポリブタジエンポリオール、官能化ポリエーテル及び / 又はポリウレタン、及び

(b) 式 (1 0 1) 及び / 又は (1 0 2)

【化 1】



で表わされる抗酸化剤、及び

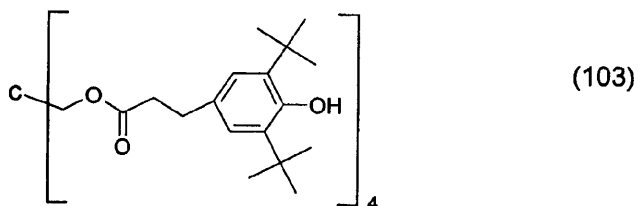
(c) 所望により、熱分解に対する更なる抗酸化剤を含む組成物であるが、

但し、成分(b)が式(101)で表わされる抗酸化剤である場合、該組成物は更なる抗酸化剤(c)を含み、

成分(a)がポリウレタンであり、かつ成分(b)が式(102)で表わされる抗酸化剤である場合、成分(c)は該組成物中に存在し、

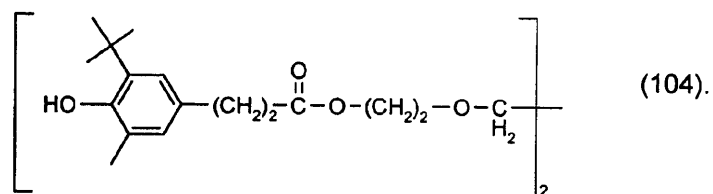
抗酸化剤が式(101)で表わされる化合物と式(103)

【化 2】



で表わされる化合物の組み合わせ、又は、式(101)で表わされる化合物と式(104)

【化 3】

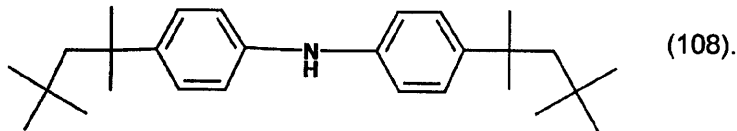
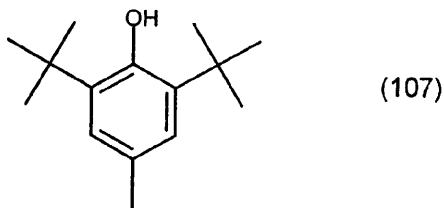
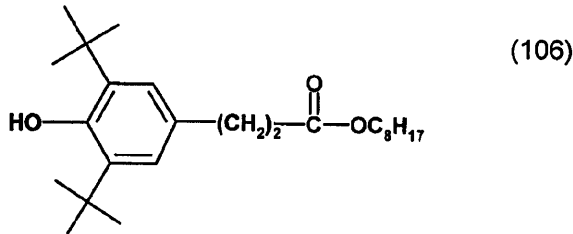
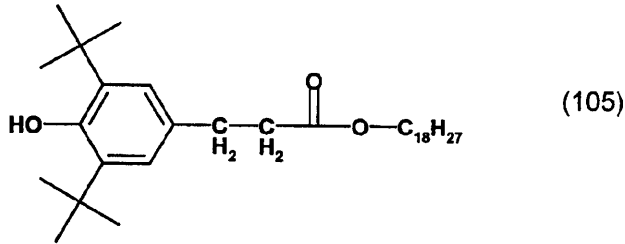


で表わされる化合物の組み合わせである場合、成分(a)はポリエステルポリオール、ポリエーテルポリオール又はポリウレタンではない組成物。

【請求項 2】

更なる抗酸化剤(c)が式(103)ないし(108)

【化 4】



で表わされる化合物である請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

更なる添加剤を含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

更なる添加剤として、(b) 及び (c) とは異なる抗酸化剤、光安定剤、加工安定剤、難燃剤、抗菌剤、抗ガスフェーディング剤 (anti gas fading) 及び / 又は蛍光増白剤を含む請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

更なる添加剤として、フェノール系抗酸化剤及び / 又はアミン系抗酸化剤、ヒンダードアミン光安定剤、UV 吸収剤、ホスフィット、ホスホナイト、ベンゾフラノン及び / 又は難燃剤を含む請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

(b) 請求項 1 で定義した式 (101) 及び / 又は (102) で表わされる抗酸化剤及び (c) 所望により熱分解に対する更なる抗酸化剤を用いた、熱分解に対して (a) ポリエステルポリオール、ポリエーテルポリオール、アクリルポリオール、ポリカーボネートポリオール、ポリブタジエンポリオール、水素化ポリブタジエンポリオール、官能化ポリエーテル及び / 又はポリウレタンを安定化するための方法であるが、但し、成分 (b) が式 (101) で表わされる抗酸化剤であり、かつ成分 (c) が存在しない場合、成分 (a) はポリウレタンではないところの方法。